

第2213号 (第三種郵便物認可)

# 鶏卵、あい鴨肉など紹介

## 埼玉県産の食品展

埼玉県と埼玉のそな銀行、JAグループさいたまによる県産食品展が2月7日にさいたまスーパーアリーナ(さいたま市中央区)で開かれ、鶏卵4社、あい鴨肉1社がそれぞれ出展した。

同県深谷市に生産農場を持つ(株)愛鶏園は、一押し卵『NA1』を出した。商品名は生食(N)での安全性(A)に徹底的にこだわっていること、生(N)での安全性(A)ナンバーワン(1)で来場者を和ませた。また

同県本庄市が拠点の(株)境野養鶏は、採卵鶏ヒナ販売に加えて、各県の関連会社との連携によって国産鶏卵や加工品の安定供給もできるとアピール。境野順子取締役は、2021年6月設立の(株)

松本米穀精麦(熊谷市)は県から優良ブランド品認定されている『彩たまご』の役職員と商談に臨んだ。さらに(株)栗駒ポトリ(有)日本海ファームなども関係グループ会社のため、国内外の様々なニーズに対応できると説明。香港への鶏卵輸出や、様々な具材入り卵焼きの製造実績も

生管理していると紹介した。(株)ナチュラルファーム(寄居町)は『放し飼いやパック入り商品の利便性を提案。採卵鶏の飼料に木酢液を加えて卵のくさみを抑え、ゴマ、ヨモギ、海藻などの配合でコクを出しているとし、G Pセンターは医療機器の消毒にも使われる洗浄・殺菌水を日々噴霧して衛

生管理していると紹介した。(株)ナチュラルファーム(寄居町)は『放し飼いやパック入り商品の利便性を提案。採卵鶏の飼料に木酢液を加えて卵のくさみを抑え、ゴマ、ヨモギ、海藻などの配合でコクを出しているとし、G Pセンターは医療機器の消毒にも使われる洗浄・殺菌水を日々噴霧して衛

生管理していると紹介した。(株)ナチュラルファーム(寄居町)は『放し飼いやパック入り商品の利便性を提案。採卵鶏の飼料に木酢液を加えて卵のくさみを抑え、ゴマ、ヨモギ、海藻などの配合でコクを出しているとし、G Pセンターは医療機器の消毒にも使われる洗浄・殺菌水を日々噴霧して衛

生管理していると紹介した。(株)ナチュラルファーム(寄居町)は『放し飼いやパック入り商品の利便性を提案。採卵鶏の飼料に木酢液を加えて卵のくさみを抑え、ゴマ、ヨモギ、海藻などの配合でコクを出しているとし、G Pセンターは医療機器の消毒にも使われる洗浄・殺菌水を日々噴霧して衛

生管理していると紹介した。(株)ナチュラルファーム(寄居町)は『放し飼いやパック入り商品の利便性を提案。採卵鶏の飼料に木酢液を加えて卵のくさみを抑え、ゴマ、ヨモギ、海藻などの配合でコクを出しているとし、G Pセンターは医療機器の消毒にも使われる洗浄・殺菌水を日々噴霧して衛

たリーフレットには同社の齋藤拓社長らが重視する「たまごを通して大切な人を幸せにする」との経営理念も記した。

同県本庄市が拠点の(株)境野養鶏は、採卵鶏ヒナ販売に加えて、各県の関連会社との連携によって国産鶏卵や加工品の安定供給もできるとアピール。境野順子取締役は、2021年6月設立の(株)

松本米穀精麦(熊谷市)は県から優良ブランド品認定されている『彩たまご』の役職員と商談に臨んだ。さらに(株)栗駒ポトリ(有)日本海ファームなども関係グループ会社のため、国内外の様々なニーズに対応できると説明。香港への鶏卵輸出や、様々な具材入り卵焼きの製造実績も

生管理していると紹介した。(株)ナチュラルファーム(寄居町)は『放し飼いやパック入り商品の利便性を提案。採卵鶏の飼料に木酢液を加えて卵のくさみを抑え、ゴマ、ヨモギ、海藻などの配合でコクを出しているとし、G Pセンターは医療機器の消毒にも使われる洗浄・殺菌水を日々噴霧して衛

生管理していると紹介した。(株)ナチュラルファーム(寄居町)は『放し飼いやパック入り商品の利便性を提案。採卵鶏の飼料に木酢液を加えて卵のくさみを抑え、ゴマ、ヨモギ、海藻などの配合でコクを出しているとし、G Pセンターは医療機器の消毒にも使われる洗浄・殺菌水を日々噴霧して衛

生管理していると紹介した。(株)ナチュラルファーム(寄居町)は『放し飼いやパック入り商品の利便性を提案。採卵鶏の飼料に木酢液を加えて卵のくさみを抑え、ゴマ、ヨモギ、海藻などの配合でコクを出しているとし、G Pセンターは医療機器の消毒にも使われる洗浄・殺菌水を日々噴霧して衛

生管理していると紹介した。(株)ナチュラルファーム(寄居町)は『放し飼いやパック入り商品の利便性を提案。採卵鶏の飼料に木酢液を加えて卵のくさみを抑え、ゴマ、ヨモギ、海藻などの配合でコクを出しているとし、G Pセンターは医療機器の消毒にも使われる洗浄・殺菌水を日々噴霧して衛



愛鶏園は来場者との対話を大切に、一押しの卵『NA1』を紹介した



境野養鶏グループは一丸となり、境野順子取締役(右から2人目)らが事業内容を説明



松本米穀精麦は県も認めるブランド『彩たまご』を展示。生産面のポイントも伝えた



ナチュラルファームの一柳社長(右)は、「養鶏に興味がある」と話す若手農業者らとも交流



浜田商店の濱田健一社長(手前右)は国産種鴨肉のおいしさをアピールした

ヤーや飲食店だけでなく、養鶏に興味を持つ若手農業者とも気さくに交流。鶏の魅力や、伸び伸びと飼うことの楽しさを話した。

あい鴨肉では、県内の自社農場などで育った生鳥を処理・加工・販売する(株)浜田商店(幸手市)が参加。濱田健一社長に「種鴨肉の味は濃厚でと

と、近年は水禽農場「種鴨肉の味は濃厚でと

と、近年は水禽農場「種鴨肉の味は濃厚でと

と、近年は水禽農場「種鴨肉の味は濃厚でと

と、近年は水禽農場「種鴨肉の味は濃厚でと

と、近年は水禽農場「種鴨肉の味は濃厚でと

と、近年は水禽農場「種鴨肉の味は濃厚でと

と、近年は水禽農場「種鴨肉の味は濃厚でと

と、近年は水禽農場「種鴨肉の味は濃厚でと

と、近年は水禽農場「種鴨肉の味は濃厚でと

と、近年は水禽農場「種鴨肉の味は濃厚でと

と、近年は水禽農場「種鴨肉の味は濃厚でと

と、近年は水禽農場「種鴨肉の味は濃厚でと

と、近年は水禽農場「種鴨肉の味は濃厚でと